

## 【共催事業】

### 集まれ！アートパーク 音であそぼう♪

日 時：平成22年7月4日（日） 10：00～15：00

会 場：松戸市中央公園

主 催：聖徳大学生涯学習研究所

共 催：聖徳大学児童学部児童学科、聖徳大学人文学部生涯教育文化学科

後 援：松戸市、松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会

協 力：まつど市民活動サポートセンター（C o C o T）、松戸駅周辺にぎやか推進協議会  
スーパー紙とんぼの会、松戸子育てさぼーとハーモニー

参加対象：幼児、小学生

内 容：音をテーマにした12のワークショップ

参加者：約473名

スタッフ94名（教員6名、学生88名）

梅雨の晴れ間、気温30度を超す真夏日の中、松戸市岩瀬の松戸中央公園で、生涯学習研究所主催の「集まれ！アートパーク」を実施した。

本学教職員および学生と地域との交流を図る、今回の社会貢献事業は、公共の公園を使って、子どもたちがアートとふれあう空間を創造するもの。平成20年度と21年度の過去2回とも松戸市民から好評を得ている。

今回のテーマは「音であそぼう」。「手づくり楽器で遊ぼう！」「だんだんタワー」「ダンス！ダンス！ダンス！」「スーパー紙トンボ」「ハングミュージック」「ワクワク音迷路」「砂よ輝け！／絵本の森へようこそ」「音もだちランド」「森のキンコンカン」「サウンドアドベンチャー」という、“音”にこだわった10のワークショップを実施した。

「アートパーク」は、児童学部児童学科・神谷明宏准教授、大成哲雄講師、柴山英樹講師、関口明子講師、人文学部生涯教育文化学科・齊藤ゆか准教授、短期大学部保育科・北沢昌代講師、6人の教員の各々の授業の一環として、本事業を進めてきた。80名以上の学生が運営スタッフとして参加。事前マネジメントでは、行政・地域の方への渉外や広報、書類等を学生自身が手がけた。各ワークショップとも、授業時間内・外を使って準備してきた本事業は、前年の2倍を超える約500人の来場者を迎え、大成功で幕を閉じた。

参加した学生のひとは「人を楽しませることの難しさや、気持ちを伝えることの大切さを学びました。子どもたちがいっぱい来てくれたことよりも、心から喜んでいる笑顔を見られたことがうれしかったです」と感想を語った。

